

## 「環境安全マネジメント学分野研究」及び「放射線安全推進研究」に関する情報交換会2022

《第1部》東京大学 客員研究員等の活動報告

《第2部》キーワード別の論点整理

- 知覚-行為、リスク認知、安全と安心
- 原子力防災、緊急時モニタリング、リスク
- 環境放射能、地圏分布・動態、不確実性
- NORM、放射線教育、防護の最適化
- 内部被ばく、体内動態、ベイズ推定法
- 放射線教育、放射線リテラシー、世論調査と政策
- 防護体系の社会実装、自治体対応、動物医療施設

《第3部》特別講演

科学を楽しく学ぶための仕組みづくりとその挑戦

《第4部》Reports of Latest Studies and Activities  
(English Session)



実施日：2022年6月4日（土）  
実施者：鈴木、飯本、高木、戸田、高嶋、鈴木、黄倉、吉山  
2018年から定例会のひとつとして位置づけている同研究会は、今回はCOVID-19に関する状況を勘案し、ハイブリッド開催となった。参加者は45名で大変に盛況であった。

## 令和4年STIFワークショップ 「多角的視点で'最適化'を考える」

○基調講演「アジア・太平洋地域NST人材育成活動の経緯と最近の動向」

○会員活動総括とR5に向けての課題と方針  
「原子力防災訓練の動向」「WiN-Global年次大会の運営と成果」「知的障害者スポーツボランティア（スペシャルオリックス）」「日本のNST黎明期からの歴史とSTIFの設立経緯」  
「EBPM（エビデンスに基づく政策決定）と経済性」「大学における化学物質管理の合理化と課題」「シミュレーションと機械学習によるリスク評価と対策の合理化」「データサイエンス教育実施に向けて」「放射線防護理念の現場実装に関連した活動」「大洗研究所員活動の日常と今後の見通し」



実施日：2022年12月27日（火）  
実施者：会員11名  
2019年から定例会のひとつとして位置づけている同ワークショップは、今回はCOVID-19に関する状況を勘案し、ハイブリッドでの開催となった。参加者は12名（会員11名、非会員1名）であった。